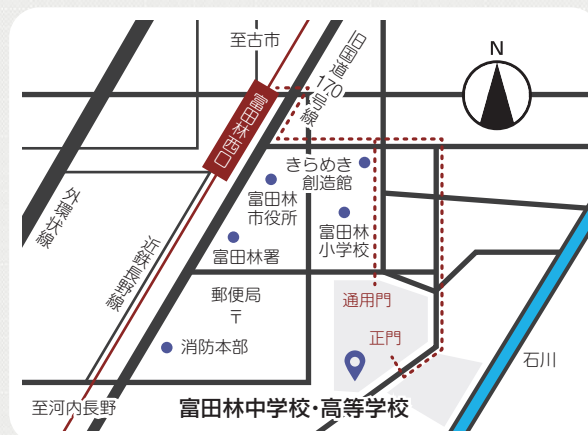


ACCESS

大阪阿部野橋駅から最寄駅まで約30分
近鉄長野線「富田林西口」下車 南へ500m



<https://tonko.ed.jp>



大阪府立富田林中学校・高等学校

〒584-0035 大阪府富田林市谷川町4-30
TEL:0721-23-2281 FAX:0721-23-2204

自由な校風、全力の伝統



大阪府立 富田林中学校・高等学校

SCHOOL GUIDE 2026/2027

未来に挑戦! Challenge for the future.



“Think Globally, act locally”

地球的視野に立ち、地域や国のことを考えて行動する。

そんな国際社会に貢献できる人材(グローバルリーダー)を育成します。

富田林中学校・高等学校では「グローバル(Global & Local)リーダーの育成」を教育目標として掲げています。未来を切り開く強い意志と高い知性、そして豊かな感性を持つ人材を、ここ富田林の地で育てていきたいと考えています。

SSH(科学教育)

大阪府立高校の普通科として唯一のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校です。生徒自ら課題を発見して研究を進める「探究」の授業を軸に、富中サイエンスや各種講演会、サイエンスツアー・地域フォーラムなど様々な科学教育プログラムを用意しています。



グローバル教育

海外修学旅行や目的別海外研修など、海外との交流を積極的に行っています。さらに地域に根ざした科学系人材を育成するため、大学や研究機関などと連携しながら地域の特色を生かした課題研究を行うなど、地域との連携も重視しています。



進路サポート

生徒一人ひとりの学習成績や大学合格の可能性を「見える化」。豊富なデータに基づく確かな進路指導を進めています。また、春休みを迎える前に行う新3年生を対象にした予備校講師を招いた集中講義、本校教員による講習など、進路サポートが充実しています。





SSH

スーパーサイエンスハイスクール

富田林中学校・高校の「科学教育」

本校は大阪府立高校の普通科としては唯一のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校です。

平成29年度に文部科学省よりSSH第Ⅰ期の指定を受け、先進的な理数教育の研究開発に取り組んできました。

令和5年度より5年間、富田林中学校・高校のSSH第Ⅱ期がスタートし、「探究活動」「地域連携」「海外連携」の3つのプロジェクトを軸に、科学の視点からソーシャルイノベーションを実現できる人材の育成を目標に掲げ、取り組んでいます。

科学教育4つのポイント



富中サイエンス

知的好奇心を育み、学習意欲を高めるため、中学理科の枠を超えたサイエンスの深さ、面白さを学びます。



大学との連携

大学との連携を築き、研究室に赴き探究の発表を行って大学の先生方から指導、助言をしていただきます。



講演会

探究活動の内容と関連の深い分野の研究者の方を招聘し、最先端の研究内容についてご紹介いただきます。



サイエンスツアー

科学的素養の育成のため、科学的施設や自然環境施設を訪問して、講演会や実習を実施していただいています。

「探究の仕方」を学び、「社会の様々な課題」を知り、「自分たちにできること」「社会貢献」について考える！

Check
1

探究活動



地域の企業とつながりを持ち、地域の課題を解決するため、中学1年生から成長に合わせて「問いを立てる力」「伝える力」などを育成しています。大阪府内の様々な分野の企業の方に出前授業やフィールドワーク、講演を依頼し、大学教授からの継続的なアドバイスをいただきながら実施しています。

Check
2

地域フォーラム



地域貢献活動の一環として「地域フォーラム」を毎年開催。「地域で取り組むSDGs」などのテーマのもとに、講演、パネルディスカッション、生徒研究発表、ポスターセッション、地域交流イベントなどを行っており、中学生・高校生が探究活動の成果を発表する場となっています。



中学校

日本学生科学賞

入選1等【科学技術振興機構賞】
「画像編集ソフトの作成」
入選3等
「ウラムの螺旋を用いた幸運数の可視化」

大阪府学生科学賞 優秀作品

【大阪府教育委員会賞】
「プラズマボールの応用～電気の無線伝送装置を作る～」

高等学校

第61回日本生物物理学会

【最優秀発表賞】
「大和川水系石川のオオシマドジョウの採餌生態」

大阪府生徒研究発表会(大阪サイエンスデイ)

【優秀賞】【金賞】
「大和川水系石川におけるアブラハヤとの共存によるタカハヤの形質置換の可能性」

富田林中高一貫校がめざす教育目標

グローバルな視野・コミュニケーション力・課題発見/解決能力・論理的思考力・社会貢献意識・地域愛

GLOBAL

グローバル教育

グローバル教育

国際交流の取り組み

富田林中学校・高等学校では、中高一貫校という強みを生かし、世界で活躍するグローバルリーダーの人材育成をめざして6年間を見据えたグローバル教育を推進しています。多様性を理解し、課題に対して論理的に考え、解決する力を養うとともに、国際社会に貢献できる人材になるためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力を育成します。

	＜海外修学旅行＞		＜海外研修＞		＜国際交流・留学等＞	
	中学修学旅行	高校修学旅行	多様性の理解	姉妹校との国際交流	個人による留学	
						
	グアム	ベトナム (ダナン)	マレーシア (クアラルンプール) ネパール (カトマンズ) 学校交流、地域体験	台湾 (台北)	アメリカ、カナダ ドイツ等	
	学校交流	学校交流		学校交流	ホームステイ 個人研究	
対象	中3全員	高2全員	中1～高2	中学生・高校生	高校生 ※希望者	

Check
3

ユネスコスクールに指定(2012年)

本校は2012年8月にユネスコスクールの認定を受けました。ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。本校では日本国内のユネスコスクールや海外の学校との交流活動を行っています。また、ケニアの子供たちへの支援活動などにも取り組んでいます。



地域連携

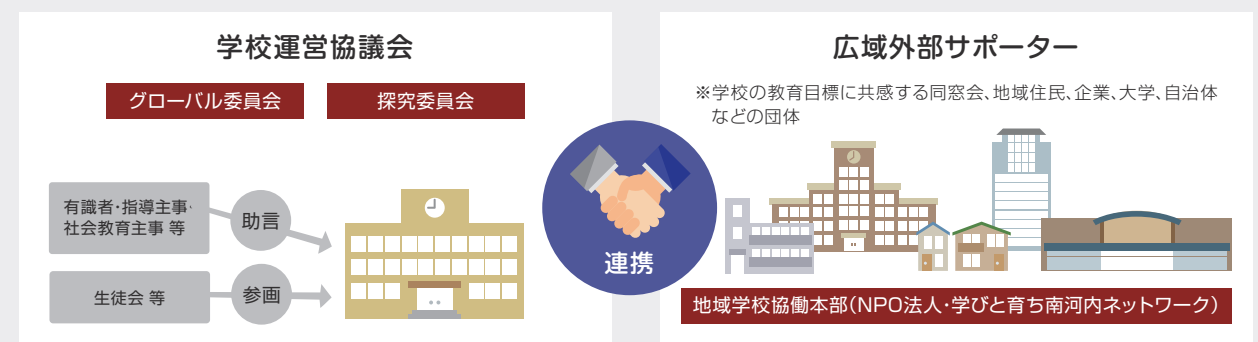
コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校です。

富田林中学校・高等学校では同窓会員や保護者、地域住民、有識者が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することで、育てたい生徒像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働できる仕組みを構築し、整備しています。

富校版コミュニティ・スクール

富田林中学校・高等学校コミュニティ・スクールネットワーク協議会



CURRICULUM

富田林中高一貫校6年間の教育の流れ

基礎期(中1・中2)

生活習慣・身なり・挨拶を定着させる。
学習習慣を身につける。
学ぶ楽しさを知る。

充実期(中3・高1)

高校入学生と切磋琢磨し、
広い視野と高い学力を身につける。
自分で考える力を身につける。

発展期(高2・高3)

高い志を持って、
自分の進路について研究し、
進路実現に向かって努力する。

「Global Explorer 専門コース」

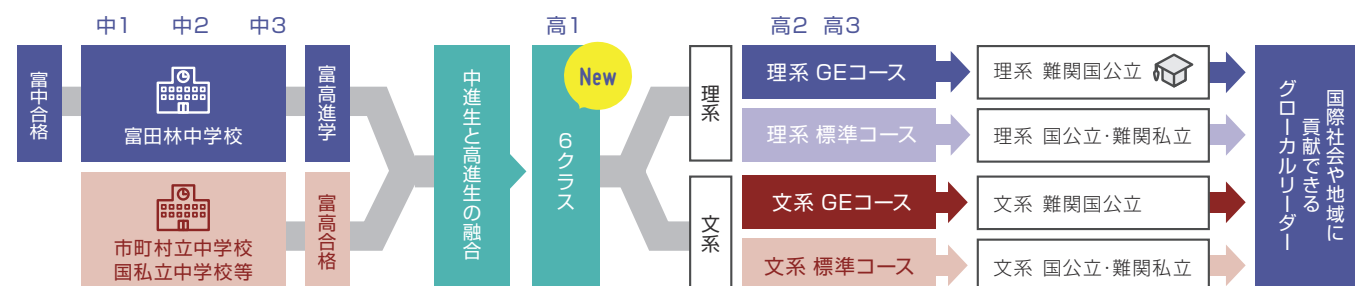
富田林中学校・高等学校は「地球的視野を持って未知の課題に挑み、地域や社会に貢献するグローバル・リーダーの育成」を教育目標としています。GE(Global Explorer)専門コースは、この目標に向かって、卓越した語学力や科学的知識を身につけ、世界の発展に貢献できる探究者をめざす生徒のために創設しました。この専門コースは、文系と理系あわせて約120名(3クラス)を定員として、生徒の目標や希望に基づき、高校1年次の学習状況等を鑑みて選考します。崇高な目標に向かって、『志』を遂げようという皆さんはぜひチャレンジしてください。

なお、本校ではSSH事業の一環として、この専門コースに進んだ者を含めて全員が「グローバル探究Ⅰ」、「グローバル探究Ⅱ」、「グローバル探究Ⅲ」を3年間で履修します。知的好奇心を育み、探究する力を身につけ、思考力・判断力・表現力を高めることで、より高い進路実現をめざします。

Check!

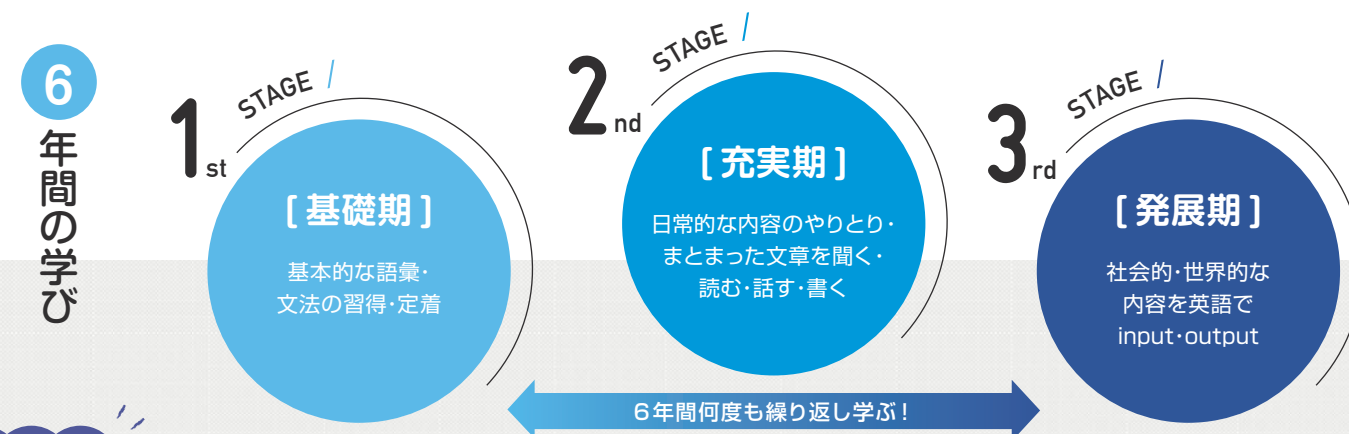
「高校1年時より中進生と高進生による混合クラスを編成」(R9年度より)

高校1年時より中進生と高進生による混合クラスを編成します。富田林中学校より進学する生徒と富田林高校へ入学する生徒が早期からともに学ぶことで、多様な価値観に触れながら互いに切磋琢磨し、学力向上とコミュニケーション力、協働する力のさらなる伸長を図ります。



豊かな英語力を身につけ、国際的な視野を育み、国内外で活躍する人材になろう!

- <聞くこと> 身近なトピックから社会的な内容まで、自然なスピードで聞いて概要を理解できる
- <読むこと> 様々なジャンルの文章を一定時間内に読み、素早く情報を整理して全体の要旨を理解することができる
- <話すこと> 具体的な理由を示しながら自分の意見を述べたり、多様な表現を用いながら物事を描写・説明したりすることができる
- <書くこと> 複数の段落で論理的に、自分の意見・考えや情報を、多様な表現を用いながら書くことができる



中学校

英語 週4時間 + 英語コミュニケーション 週1時間

	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
1年	商品や映画などの説明・天気予報・短いアナウンス・インタビュー	パンフレット・広告・観光案内・簡単な記事・メール・短い物語	自分の持ち物や興味人物の紹介・1分程度のプレゼンテーション	自己紹介・学校行事や地域の紹介・感想文
2年	ルール・ニュース・日常的話題・アナウンス	メニュー・ウェブサイト・インタビュー原稿	地域・将来の夢・2分程度のプレゼンテーション	エッセイ・ポスター・感想文
3年	放送・ボイスメッセージ・ニュース・日常的話題スピーチ	商品説明コラム記事・伝記・物語	自分の経験・身近な話題・社会的な問題についてのディスカッション	招待状・紹介文・社会的な話題についての感想文

*文部科学省が定める標準の授業時間数よりも多い授業時数を確保し、週1回ネイティブスピーカーとのコミュニケーションの授業を実施。
*1,2年生では終日英語を用いてプレゼンテーション力、コミュニケーション力を磨くイングリッシュ・ワールドを実施。
*英文法は中学校教科書に加え、中高一貫校用教材を使用し、高校の内容にまで踏み込んで学習します。

高等学校

	英語コミュニケーション	論理表現	英語演習 共通(文系のみ)	実践英語 文系標準クラス (選択)	3年間で 通した語彙 の学習
1年	基礎的なコミュニケーション能力の育成 (4技能)	英語で表現する力の育成 (ディベート・スピーチ・ライティング等)			コミュニ ケーションで 使える語彙
	速読演習				
	基礎的な文法の知識				共通テスト レベル
2年	GEクラス 標準クラス	GEクラス 標準クラス			国公立私立 入試レベル
	コミュニケーション能力の向上(4技能)	英語で表現する力の向上			
	共通テスト対策(速読・リスニング)	文法問題演習			
3年	難関国公立・私立大学入試読解問題対策演習	国公立・私立大学入試読解・問題対策演習	入試対策 和文英訳・自由英作文	難関国公立・私立大学入試問題対策演習	難関国公立・私立入試 レベル
	共通テスト演習			具体的な使用場面を想定した演習 (資格試験・メール・ディスカッション…etc)	
	リスニング問題演習	文法問題演習			

08

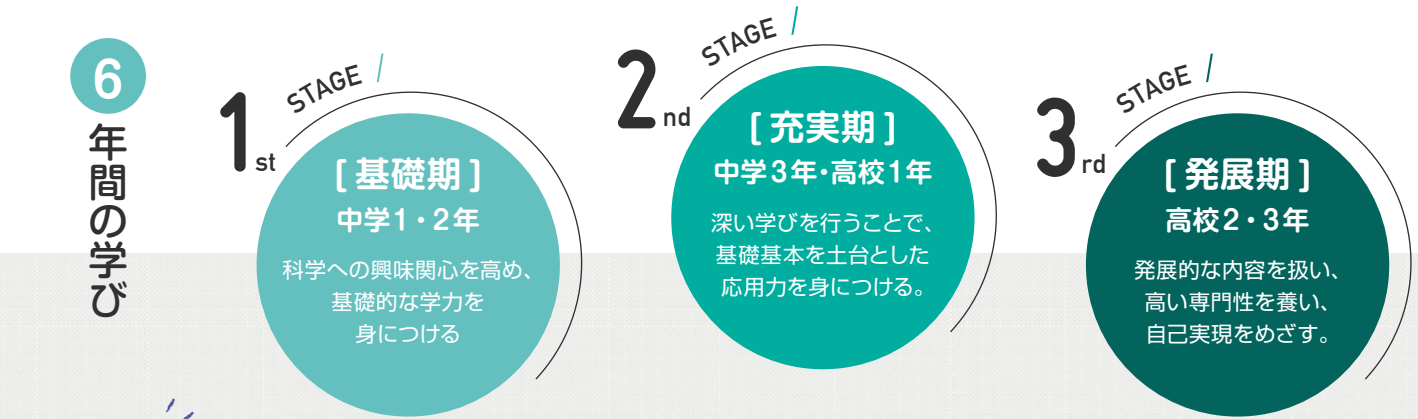


09

理科の学び

科学に興味関心をもち、科学的にものごとを眺める視野と姿勢を身につけよう！

理科においては、科学に興味関心を抱き、物事を主体的に考え・判断する能力の育成をめざしています。そこで、中学校と高校という2つのステージにおいて、「科学への興味」を土台とした、主体的な学びが実現できるよう、カリキュラムを構成しています。具体的には、以下のような資質・能力を生徒が身につけられるよう、授業を展開しています。これらの能力は、社会の問題を発見し、問題を解決する能力につながります。



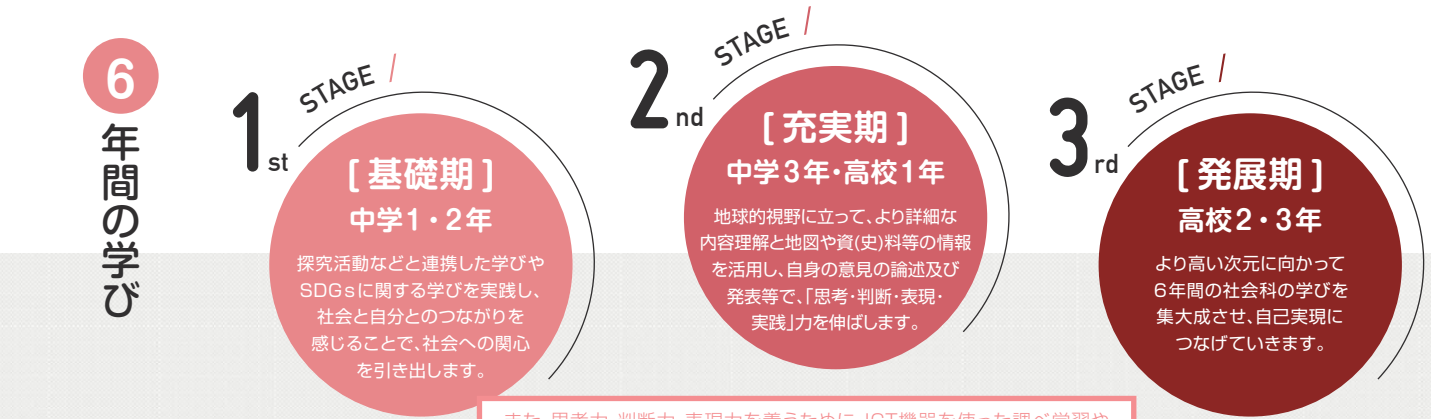
中学校	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
1年	・力の働き ・光と音	・物質のすがた ・水溶液 ・状態変化	・生物の観察と分類の仕方 ・生物の体の共通点と相違点	・身近な地形や地層、岩石の観察 ・地層の重なりと過去の様子 ・火山と地震 ・自然の恵みと火山災害・地震災害
2年	・静電気 ・電流 ・電力と磁力	・物質のなりたち ・化学変化 ・化学変化と物質の質量	・生物と細胞 ・植物の体のつくりと働き ・動物の体のつくりと働き	・気象観測 ・天気の変化 ・日本の気象 ・自然の営みと気象災害
3年	・力の合成と分解 ・運動の規則性 ・力学的エネルギー	・水溶液とイオン ・化学変化と電池	・生物の成長と殖え方 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	・天体の動きと地球の自転・公転 ・太陽系と恒星
	・科学技術と人間		・人間と自然	

高等学校	化学基礎	SS科学と人間生活		
1年	・物質の構成 ・物質の変化	・速度 ・加速度	・材料とその再利用 ・力	・生物の共通性と多様性 ・生物とエネルギー ・太陽系における地球 ・自然景観と自然災害
2年	理系		文系	
	理数物理	理数化学	理数生物	化学基礎演習 生物基礎
	・物体の運動とエネルギー ・剛体のつり合い ・運動量と力積 ・円運動と単振動 ・熱と気体分子の運動 ・波の性質 ・音と光 ・光の回折と干渉	・物質の三態と熱運動 ・化学結合と結晶 ・気体及び溶液の性質 ・物質とエネルギー ・電池、電気分解 ・化学反応の速さ ・化学平衡と電離平衡 ・非金属元素について ・典型金属、遷移元素について	・ヒトの体の調節 ・生物の多様性と生態系 ・生物の進化 ・生命現象と物質 ・遺伝情報の発現と発生	・物質の成分と構成元素 ・原子の構造と周期表 ・物質と化学結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基の反応 ・酸化還元反応 ※上記の内容で問題演習
3年	理数物理	理数化学	理数生物	化学演習 生物演習
	・電界と電位 ・電流 ・電流と磁界 ・電磁誘導と電磁波 ・原子・分子の世界 ※入試問題の演習	・有機化合物の特徴と分類 ・脂肪族化合物について ・芳香族化合物について ・天然高分子化合物について ・合成高分子化合物について	・生物の環境応答 ・生態と環境 ※入試問題の演習	・物質の成分と構成元素 ・原子の構造と周期表 ・物質と化学結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基の反応 ・酸化還元反応 ※入試問題の演習

社会科(地理歴史・公民)の学び

富田林から世界をリードするチカラを身につけよう！
～思考・判断・表現・実践～

6年間の教科の学びを通じて、地図や資(史)料等からの確に情報を読み取り、適切な答えを出す「思考力」・「判断力」や、その答えを論理的にまとめ、適切に社会にアプローチする「表現力」・「実践力」を伸長することをめざしています。さらに、「よりよい社会を形成しようとする態度」や「多様性を認め合う寛容さ」を育てていきます。具体的には、教科書内容の学習を基本としつつ、以下の3つのステージそれぞれの発達段階に応じて目標を掲げ、社会の課題を発見し、能動的に解決法を見出し、実践していくチカラにつながります。



また、思考力・判断力・表現力を養うために、ICT機器を使った調べ学習やプレゼンテーションを、基礎的な知識・技能の獲得のために、反復演習やアクティブラーニングによる授業を行っています。

中学校	1年	2年	3年
地理分野	世界地理を学習 世界の地形、気候、産業、文化などの学習を、SDGsの視点を重視しながら行う。	日本地理を学習 日本の地理の学習を通し、防災の視点を重視しながら、一人ひとりが地域に貢献する意識・態度を養う。	
歴史分野	日本と世界の古代・中世を学習 身近な地域の歴史に関心を持ち、歴史を学び未来を考える力を養う。	日本と世界の近世・近代を学習 史資料を活用する機会を多く設定しながら、歴史を学び未来を考える力を養う。	日本と世界の近代・現代を学習 国際情勢・平和などをテーマにした調べ学習などを行い、歴史を学び未来を考える力を養う。
公民分野			「公民」を学習 これまでの地理・歴史の学習を発展させ、人権問題など現代社会の諸課題に対して自分の意見を持ち、議論・プレゼンテーションする力を養う。
	STAGE 1		STAGE 2

高等学校	1年	2年	3年
地理分野	「地理総合」 中学地理の学習内容を発展させ、系統的に整理していく。GISを活用した環境問題学習、防災学習等を行う。		「地理探究」 「地理総合」の学習を発展させ、地理に関わる事象について、系統地理的、地誌的に考察したり、議論したりする力を養う。また、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。
歴史分野	「歴史総合」 日本史と世界史の関連性を重視し、グローバルな視点を養う。地域学習等を通じて資料を読み解く力や考える力を養う。	「日本史探究」または「世界史探究」 「歴史総合」の学習を発展させ、日本の歴史に関する事象または、世界各国の歴史事情についてより理解を深めるために主体的に学ぶ。また、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。	
公民分野		「公共」 身近な題材から社会への理解を深め、課題と向き合い解決する力を身につけることを目標にする。また、持続可能な社会の実現に向けての学習も行う。	「倫理」「政治・経済」 「公共」の学習を発展させ、現代の諸課題について多面的な考察や深い理解を促すとともに、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。
	STAGE2	STAGE3	

自己実現へ！

芸術

中学校

音楽

美術

1年		2年		3年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
<表現(歌唱・器楽・創作)> 歌唱の基本的な発声 ／呼吸法／アルトリ コーダーの基本的な奏 法①／リズムあそび <鑑賞> 楽曲の雰囲気・楽器の 音色や特徴／ソネット と音楽との関わり／	<表現(歌唱・器楽)> 声部の役割を生かし た合唱表現／日本歌 曲の歌唱／アルトリ コーダーの基本的な 奏法②／アルトリコー ダーの器楽合奏／和 楽器の演奏 <鑑賞> 詩と音楽との関わり／ 日本の伝統音楽・箏曲	<表現(歌唱・器楽・創作)> 歌唱の基本的な発声・ 呼吸法／曲想を生かし た合唱表現／リコー ダーアンサンブル／リ ズム反復・変化、重なり 方 <鑑賞> 多声音楽の旋律の重 なり	<表現(歌唱・器楽)> 旋律の抑揚やまとまり などを生かした合唱表 現／日本歌曲の歌唱 表現の工夫／アルトリ コーダーの器楽合奏 <鑑賞> オーケストラの楽器と 音楽／日本の伝統音 楽・長唄	<表現(歌唱・器楽・創作)> 日本歌曲や世界の歌 曲／アルトリコーダー の音楽表現／表現の 工夫をした重唱／リス ムの反復・変化、重なり 方 <鑑賞> 西洋音楽の歴史と特 徴	<表現(歌唱・器楽)> 楽曲に相応しい合唱表 現の工夫／リコーダー アンサンブル <鑑賞> 日本の伝統音楽・能／ 諸外国の様々な音楽
前期	後期	前期	後期	前期	後期
<絵・彫刻> 人の姿、美しさ <デザイン・工芸> 形と色彩のメッセージ ／模様のデザイン／レ タリング <鑑賞> 伊藤若冲の世界／機 能と美しさの調和	<絵・彫刻> ダンボールを用いた 立体表現 <デザイン・工芸> ロゴマークで印象づ ける <鑑賞> 江戸の美術の面白さ	<絵・彫刻> 風景が語るもの／この 場所、この場面 <デザイン・工芸> 型から生まれる形／ア クリル絵の具によるイ メージ表現	<絵・彫刻> 風景が語るもの／形を 研ぎ澄ませて <デザイン・工芸> ピクトグラムとサイン 計画／ポスターで伝 える <鑑賞> 日本らしさ	<絵・彫刻> 自分と向き合う <デザイン・工芸> レタリングからの展開 ／オノマトペ <鑑賞> 日本らしさ／祈りの造 形、仏像の美	<絵・彫刻> 想像の世界を表す／ 形と色彩が織りなす イメージ <鑑賞> ルネサンス、人間の発 見／主題を決めるロ マン主義／光をとらえ る印象派
前期	後期	前期	後期	前期	後期

高等学校

音楽

美術

書道

校

1年		2年	
前期	後期		
<表現(歌唱・器楽・創作)> 歌唱の発声:呼吸法／歌唱:2部合唱 ／合奏:アルトリコーダー <鑑賞> 楽器の表現の効果／楽曲の理解	<表現(歌唱・器楽・創作)> 合唱表現／外国語歌唱:3部合唱／ 器楽合奏:ギター <鑑賞> ミュージカルの世界／名曲や作曲家 の理解		
前期	後期		
<絵画> アクリル絵具による表現 <鑑賞> コラージュを用いた表現	<デザイン> レタリングからの展開／オノマトペ による表現 <彫刻> 発泡スチロールと粘土を用いた立体 表現		
前期	後期		
<書写から書道へ> 用具・用材／姿勢・執筆法／書体の 変遷／楷書の基本点画 <楷書の学習> 九成宮醴泉銘／孔子廟堂碑／雁塔 聖教序 <行書の学習> 蘭亭序 <篆書の学習> 泰山刻石 <篆刻の学習>	<隷書の学習> 曹全碑 <仮名の書の学習> 平仮名／変体仮名／連綿／蓬萊切 <漢字仮名交じりの書の学習>		

技術・家庭

中学校

技術分野

家庭分野

高等学校

情報

家庭

文

1年		2年		3年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
ガイダンス／技術と私たちの生活／材料と加工に関する技術／製作のための技能	製作品の製作／構造を丈夫にする技術／問題の発見と課題の設定／材料と加工の技術と私たちの未来	製作品の製作／生物育成に関する技術／生物の育成／生物育成に関する技術の活用	私たちの生活とエネルギー変換／電気エネルギーの利用／発電所のしくみ	情報に関する技術／プログラムによる計測・制御／デジタル作品の設計と製作／情報セキュリティと情報モラル／情報に関する技術の評価・活用	
ガイダンス／自分の成長と家族・家庭生活／家族・家庭や地域との関わり／食生活と栄養／食事の役割と健康に良い食習慣／栄養素の種類と働き／中学生	献立作りと食品の選択／6つの食品群、1日分の献立／用途に応じた食品の選択／材料に適した調理と日常食の調理／食品や調理用具の安全と衛生管理／調理と地域の食文化	衣服と社会生活との関わり／目的に応じた着用／個性を生かした着用／衣服の選択と計画的な活用／日常着の手入れと工夫／家族の生活と住空間との関わり	住居の基本的機能／家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫／住生活についての課題と実践／布を用いた物の製作／金銭の管理と購入／消費生活・環境の課題と実践	幼児の発達と生活の特徴／家族の役割／幼児の遊びと意義／／幼児との関わり方と工夫／家族・家庭生活についての課題と実践	

保健体育

中学校

体育

保健

高等学校

体育

保健

1年		2年		3年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
体づくり運動(男女)／ラジオ体操(男女)／集団行動(男女)／バレーボール(男女)／タグラグビー(男女)／水泳(男女)／器械運動(男女)／陸上競技(女子)	陸上競技(男女)／器械運動(男女)／バスケットボール(男女)／持久走(男女)／サッカー(男女)／タグラグビー(女子)	体づくり運動(男女)／テニス(男子)／ダンス(男子)／器械運動(男女)／ソフトボール(男女)／柔道(女子)／水泳(男女)／陸上競技(女子)	キックベース(男子)／柔道(男子)ダンス(女子)／陸上競技(男子)／テニス(女子)／持久走(男女)／ハンドボール(男女)／器械運動(男女)	体づくり運動(男女)／ハンドボール(男女)／バレーボール(男女)／水泳(男女)／ダンス(女子)／器械運動(男女)	サッカー(男女)／陸上競技(女子)／バスケットボール(男女)／バドミントン(男女)／柔道(男子)／持久走(男女)／ダンス(女子)
健康の成り立ち／運動と健康／食生活と健康／休養・睡眠と健康／体の発育・発達／呼吸器・循環器の発達／生殖機能の成熟／性とう向き合うか	心の発達(1)(2)／自己形成／欲求不満やストレスへの対処／リラクゼーションの方法／スポーツの始まりと発展／スポーツへの多様な関わり方／スポーツの多様な楽しみ方	生活習慣病とその予防／がんとその予防／喫煙と健康／飲酒と健康／薬物乱用と健康／喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ／障害の原因と防止	交通事故の現状と原因／交通事故の防止／犯罪被害の防止／自然災害に備えて／応急手当の意義と基本／心肺蘇生法／体育理論	感染症とその予防／性感染症とその予防／健康を守る社会の取り組み／医療機関の利用と医薬品の使用／環境の変化と適応能力／活動に適した環境／室内の空気の条件	水の役割と飲料水の確保／生活排水の処理／ごみの処理／環境の汚染と保全／スポーツの文化的意義／国際的なスポーツ大会とその役割／人々を結び付けるスポーツ

1年		2年		3年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
集団行動(男女)／ラジオ体操(男女)／陸上競技(男女)／テニス(男子)／バスケットボール(女子)／柔道(男子)ダンス(女子)／水泳(男女)	体育理論(男女)／陸上競技(男女)／持久走(男女)／バスケットボール(男子)／テニス(女子)／柔道(男子)ダンス(女子)	ハンドボール(女子)／バレーボール(女子)／サッカー(男子)／器械運動(男子)／水泳(女子)／体育理論	サッカー(女子)／器械運動(女子)／バレーボール(男子)／ハンドボール(男子)／持久走(男女)	ソフトボール(男女)／バスケットボール(男子)／アルティメット(女子)／バレーボール(男女)	サッカー(男女)／バドミントン(男女)／体育理論

1年		2年	
前期	後期	前期	後期
<現代社会と健康> 健康について／生活習慣病(がん、運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒について)／薬物乱用	<現代社会と健康> 精神疾患／感染症／性感染症・エイズ／意思決定・行動選択 <安全な社会生活> 交通安全／応急手当／心肺蘇生法	<生涯を通じる健康> ライフステージ／思春期と健康／性意識と性行動／妊娠・出産／避妊法／結婚生活／中高年期と健康／労働災害／健康的な職業選択	<健康を支える健康づくり> 大気汚染／水質汚濁、土壌汚染／環境対策／食品衛生／保健サービス／医療サービス／医薬品／保健活動

LEARNING SYSTEM

進路実績（令和7年度・6年度入試） ※1学年は6クラス240名規模

国公立大学 合格者数

<令和7年度入試>

112名 / 現役98名
浪人14名

<令和6年度入試>

86名 / 現役72名
浪人14名

国公立大学 医学科・薬学科・歯学科 合格者数

<令和7年度入試>

3名 / 現役2名
浪人1名

<令和6年度入試>

9名 / 現役7名
浪人2名

京都大学・大阪大学・神戸大学 合格者数

<令和7年度入試>

21名 / 現役19名
浪人2名

<令和6年度入試>

22名 / 現役14名
浪人8名

関関同立 合格者数

<令和7年度入試>

262名 / 現役233名
浪人29名

<令和6年度入試>

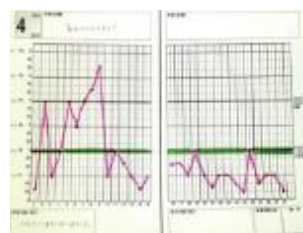
228名 / 現役198名
浪人30名

志望大学に対する学習への取り組み

生徒手帳

本校は独自の生徒手帳を作成しています。生徒たちはその手帳に日々の学習時間を記録し、毎朝のSHRで担任と副担任と話をしながら自分の学習状況を確認しています。また、学習の状況をフィードバックすることで、自身の学習への取り組みを客観視できることを目指します。

生徒が日々の勉強時間を記録することで、自分の学習状況を客観的に把握できます



MESSAGE

京都大学 法学部 梅田 朋子

57期卒業生

皆さんの中には、「自分の将来の夢がわからない」という方が大勢いると思います。私は、そういう方にこそ、是非、勉強を頑張っておきたいと思っています。

私は、勉強とは、将来、自分の夢を見つけたときに手遅れにならないように高校生の間にできる唯一の準備であって、学歴とは、「努力ができること」の証明であり、自分の選択肢や可能性を広げてくれるものと考えています。

また、一生懸命努力して入った大学では、優秀で尊敬できる友人たちと、素晴らしい刺激に満ちた日々を送ることができます。私は、富田林高校在学中、先生方に、当初から「京都大学に行きたい」と伝えていました。すると、先生方はいろいろな勉強方法や制度について積極的に調べて教えてくれました。富高生活を楽しみながら最後まで妥協せずに挑むことができたのは、先生方のおかげだと思っています。

弁護士という仕事はとても面白いです。皆さんも是非、富田林高校で目標に向かって、全力で勉強を頑張ってみてください。応援しています。



大阪大学 医学部医学科 新熊 晴乃

76期(中学2期)卒業生

富校では、勉強も部活も行事も、「ぜんぶ全力」で楽しむことができます。自由な校風であるからこそ、自分達で何かを成し遂げよう、という気概をもってあらゆるイベントに臨むことができます。美術部と茶道部に所属していた私は、特に文化祭が良い思い出です。クラスや部活の仲間と協力し合って一つのものを作り上げる経験は、私の人生の中でも貴重なものになりました。富校のような自由で盛り上がる文化祭は他にはないと思います。

また、自分の進路について考える機会も多く設けられています。特に、中学1年生の時に、岸本忠三先生と山中伸弥先生の講演を聞かせていただいたことは強く記憶に残っています。私が実際に進路を決める際には、それらの講演を思い返し、自分が将来どうなっていたいか、というイメージを膨らませました。探究活動をする中で、自分の好きなことを見つけていく同級生もいました。どのような進路を選択しても、先生方も友達も応援してくれます。私自身、自分の学力が志望大学に届くか不安でしたが、先生方や友達に背中を押していただきました。

富校は、自分がやりたいことを全力で頑張れる環境が整っています。みなさんにはぜひ、かけがえない充実した学校生活を、富校で送っていただきたいです。



岸本 忠三さん

(免疫学者、大阪大学特任教授)

10期卒業生

1939年富田林市生まれ、富田林高校10期生。大阪大学医学部卒業。

海外経験を経て同大学細胞工学センター教授、医学部内科学教授、医学部長、1997年に同大学総長に就任。2003年より名誉教授、現在大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授。免疫学の権威であり、種々の生理現象や炎症・免疫疾患の発症メカニズムに関与している糖タンパク質である「インターロイキン6(IL-6)」の発見で知られる。このIL-6の働きを抑えるアクテムラが、今、新型コロナウイルスの治療薬として脚光を浴びています。国内では1998年に文化勲章、海外では2009年に日本人初となるクラフォード賞受賞、2017年にはキング・ファaisal国際賞、2020年Tang Prize受賞等国内外において数々の賞を受賞されています。



長い間、人類を苦しめている難病の「リウマチ」を克服する薬を開発したのが富田林高校の大先輩、岸本忠三先生です。日本初の免疫治療薬アクテムラを苦労の末に開発した岸本先生は、「10年後には、関節リウマチで辛い生活を余儀なくされる人がいなくなるだろう」と、世界中から称えられました。先生は、現在も大阪大学で学生に教えています。

「何でやる?」という素朴な疑問が、研究の原動力だ「自分が開発した薬で難病と言われた病氣も治っていく。これこそ自分が生きている証やなと思う。」とおっしゃっています。そして、新しい世代に期待をかけて、新しい富田林中高一貫校を応援していただいています。岸本先生こそ、私たちのめざす「探究」と「貢献」の実践者です。

岸本先生の口癖「社会のためになる人になれ」を心に抱き、この富田林中学校・高等学校で深い「学び」を実践しましょう。未来に挑戦!

ANNUAL EVENTS



- 4 April**
 - 入学式
 - 始業式・対面式
 - 中高一貫校用第1回学力推移調査
 - 全国学力・学習状況調査(3年)
 - 富中サイエンスⅡ(2年)
- 5 May**
 - 創立記念日
 - PTA総会
- 6 June**
 - 文化祭(中高合同)
 - 富中サイエンス(1年)
 - カウンセリング週間
 - 前期中間テスト
 - 学年保護者説明会
- 7 July**
 - 芸術鑑賞(中高合同)
 - 第1回学校説明会
 - 保護者懇談
 - 富中サイエンス(1年)
- 8 August**
 - 第2回学校説明会
 - 体育祭
- 9 September**
 - 第2回中高一貫校用学力推移調査
 - カウンセリング週間
 - 前期期末テスト
 - 大阪府中学生チャレンジテスト(3年)



仲間と一緒に高め合っていくことで
大きなことでも頑張れる!

富田林中学校では、多種多様な活動があり、様々な経験を積むことができます。例えば、「探究活動」では、仲間と共に協力しながら知識を深め、更に企業に訪問したり、こちらから企業に提案したりと、学生の頃から実際に社会に触れながら、自らの疑問を深めていくことができます。

また、富田林中学校には中高合同の部活も多数あり、それらの部活では中学生と高校生と一緒に学び、協力して活動しています。年の離れた人同士だからこそ新しい視点や発見があります。このように中高生が関わる機会が多い学校はやはり少ないと思います。

他にも、文化祭や地域フォーラムといった生徒達自身が主体となって作り上げていく活動が多く、それにより協調性や主体的に取り組む力を培っていくことができます。

富田林中学校 生徒会一同



- 10 October**
 - 始業式
 - 保護者懇談
 - 第3回学校説明会
- 11 November**
 - 修学旅行(3年)
 - 後期中間テスト
 - 探究フィールドワーク(2年)
- 12 December**
 - イングリッシュワールド(1年)
 - 実力テスト(3年)
- 1 January**
 - GTEC(2年・3年)
 - 中学校入学者選抜
 - 中高一貫校用第3回学力推移調査
 - 大阪府中学生チャレンジテスト(1・2年)
- 2 February**
 - 探究学年発表会
 - 後期期末テスト
 - 地域フォーラム(探究学習発表会)
- 3 March**
 - 高校入学者選抜
 - 地域貢献活動
 - イングリッシュワールド(2年)
 - 卒業式(3年)
 - 修了式(1・2年)

ぜんぶ全力!



CLUB ACTIVITIES



中学部活動紹介

運動部

男子バスケットボール部 / 男子ソフトテニス部 / 女子ソフトテニス部 / 女子バレーボール部 / バントワリング部 / サッカー部 / 女子硬式テニス部 / 陸上競技部 / 水泳部

文化部

科学部 / 写真部 / 茶道部 / ユネスコ部 / 吹奏楽部

高校部活動紹介

運動部

男子バスケットボール部 / 女子バスケットボール部 / ソフトテニス部 / 男子バレーボール部 / 女子バレーボール部 / サッカー部 / 硬式野球部 / 陸上競技部 / バドミントン部 / 水泳部 / 剣道部 / 卓球部 / ラグビー部 / 硬式テニス部 / 男子ハンドボール部 / 女子ハンドボール部

文化部

バントワリング部 / ダンス部 / 吹奏楽部 / 茶道部 / 科学部 / 美術部 / 軽音楽部 / 放送部 / ユネスコ部 / 写真部 / 文芸部

部活動 受賞歴

バントワリング部

大阪府大会 金賞
関西大会 3位
全国大会 金賞

陸上競技部

大阪中学校選手権 共通男子 400m 6位
共通男子 走高跳 決勝進出
共通女子 100mH 準決勝進出

水泳部

大阪中学校水泳競技大会 100mバタフライ 出場

女子硬式テニス部

大阪中学校総合体育大会 テニス中央大会(府大会) 女子シングルス 優勝

ソフトテニス部

男子春季大会団体戦 府大会 9位(近畿選手権大会出場)

水泳部

近畿高等学校新人水泳競技大会 100m 平泳ぎ 7位
近畿高校選手権水泳競技大会 兼 全国大会予選 出場

バントワリング部

第45回 バントワリング関西大会 6位入賞
第51回 バントワリング全国大会 銀賞
第47回 全国高等学校総合文化祭がこしま大会 講評者特別賞
第43回 近畿高等学校総合文化祭 三重大会 奨励賞

科学部

日本生物物理学会 最優秀発表賞、日本生物物理学会 優秀発表賞
日本魚類学会 優秀研究賞、大阪府学生科学賞、大阪府教育委員会賞
大阪府生徒研究発表会 優秀賞・金賞

美術部

大阪府高等学校美術・工芸展 奨励賞

軽音楽部

全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2023 夏の陣
ベストプレイヤー賞 ボーカル1位、ギター1位
全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2023 冬の陣
総合順位 準優勝、ベストプレイヤー賞 ボーカル1位

写真部

第44回 大阪府高等学校芸術文化祭 優秀賞(全国大会出場)・奨励賞

FAQ

1. 富田林中学校・高校はどのような生徒を育てたいと考えていますか。

富田林中学校・高校では「地球的視野に立ち、地域や国のことを考えて行動し、国際社会に貢献する“グローバル人材”を育成すること」を教育目標としています。そのため、①グローバルな視野とコミュニケーション力、②論理的思考力と課題発見・解決能力、③社会貢献意識と地球愛という3つの資質能力を育成し、高い志と意欲を持って主体的・協働的に考え行動できるような生徒を育てたいと考えています。

2. 中高一貫校に通うことの魅力はどこにありますか。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)のしくみを活用し、産官学協働による「貢献」をキーワードとした探究活動や国際交流等をはじめとした豊富な体験学習などにより21世紀を生きるたくましいグローバル人材を育成します。また、岸本記念中高一貫コンセプトホールには360名を収容できる大型スクリーン付きの大講義室1室と40名を収容できるセミナー室3室があります。これらの設備は、講演会や探究活動の発表会等に利用されています。

3. 富田林中学校・高校が優れている点は何でしょうか。

富田林中学校・高校では6年間を見据えた計画的なカリキュラムを準備しているので、中学生の段階から高度な授業で高い思考力・判断力や表現力を身に付けることができます。また高校受験がないため中学生の間に部活動や体験学習にも打ち込むことができます。行事や部活動などを通して高校生との交流も活発なので、異なる年齢の生徒間で豊かなコミュニケーション能力を育むことができるのも魅力です。

4. 富田林中学校・高校ではどのような目標で英語学習が行われていますか。

英語で自分の意見をまとめてプレゼンテーションをしたり、議論をしたりすることができる英語力を身に付けることをめざします。具体的には朝のホームルームでのリスニング学習、イングリッシュワールド(ネイティブスピーカーとの英語研修)、総合的な学習の時間・探究の時間を用いた海外との交流(オンラインを含む)、外部検定試験への取り組み、国内外の英語研修など、多様な場面で英語を使う機会を設けています。

5. 修学旅行はどこに行きますか。また海外研修などは充実していますか。

中学校はグアム、高校は台湾に行くことを予定しています(R8年度実施分)。どちらも市内見学だけでなく、現地の中学校・高校を訪問し、同年代の海外の生徒と交流するプログラムも予定しています。R8年度はオーストラリア研修、ネパール研修と長期・短期の海外交換留学を予定している等、中高一貫校の利点を活かして6学年の生徒それぞれの発達段階や教育目標に合わせたプログラムを準備しています。

6. 富田林中学校・高校での生活は忙しそうですが、ついていけるでしょうか。

富田林中学校・高校では、授業や部活動だけではなく行事や講演会、多種多様な研修など皆さんの感性を刺激する様々なプログラムを準備しています。確かに本校で過ごす6年間は忙しい日々になるかもしれませんが、このような中で授業についていくためには予習・復習が欠かせません。しかし、中学生・高校生の時期に、高い志を持つ仲間と共に様々な活動に主体的に取り組む経験は何ものにも代えがたいものであり、このような経験を積み6年後にはきっと大きな成長を遂げているはずです。皆さんの先輩も「ぜんぶ全力」をモットーに様々な活動に積極的に取り組み、部活動も高い加入率を誇ります。本校では生徒手帳を活用して毎日の学習時間を記録する取り組みを行っているので、こうしたツールや学校でのサポート等を上手く活用しながら生活・学習習慣を整え、ぜひ6年間で充実した日々にしてほしいと考えています。

7. 学校内で、中高生徒間にはどのようなかわりがありますか。

文化祭や体育祭等の行事を合同で実施します。また部活動も活動内容によっては合同で行っています。

9. 入学者選抜についてはどこを参照すればいいですか。

入学者選抜についての詳細は大阪府教育委員会のホームページに掲載していますので、そちらをご参照ください。